

特別例会 学生のためのキャリアデザインセミナー 開催

VAL21は、平成30年12月13日(木)、スペースアルファ三宮(神戸市中央区)において、県内の学生を対象に、結婚や出産、子育てといったライフイベントを含めたキャリアデザインを考えるきっかけとしてもらうため、兵庫県と共催で、学生のためのキャリアデザインセミナーを開催しました。昨年度は女子大学生のみを対象として実施しましたが、女性がライフイベントを乗り越えて働くためには男性の理解が必要なこと、また、もっと若いうちからキャリアデザインを意識してもらう、という観点から、今年度は男性、高校生も含めた県内在住・在学の学生を対象とし、学生26名、VALメンバー23名、ゲスト2名、事務局3名の54名が参加しました。

セミナーは大久保和代県女性青少年局長の開会挨拶で始まり、二部構成で開催しました。第一部は、企業等で実際に活躍している女性の声を聞く機会として、伊藤ハム(株)人事部人材開発室の池田実里氏、厚生労働省兵庫労働局雇用環境・均等部長の金井陽子氏の2名の先輩にこれまでのキャリアや体験談をお話いただきました。お二人からは、人生の節目となる分岐点での自分なりの判断方法や、就職する企業を選ぶにあたって大切にしたこと、仕事のやりがいなどについてお話いただき、今後キャリアデザインをしていくにあたって大切なことについて、「今の自分をよく知りよく考えること」、「そのときできる精一杯の選択を繰り返すこと」「仕事を女性という枠で選ぶのではなく、なりたい自分を描いて選ぶこと」といったアドバイスをいただきました。

第二部は、9班に分かれてのグループワークをワールドカフェ方式で実施しました。学生は「家事と仕事の両立(WLB)」「どんな時に仕事のやりがい・喜びを感じるか」「これまでの仕事人生」の3つから、興味のあるテーマについて先輩女性社員から直接話を聞き、そこから普段疑問に思っていること、不安を感じていることなどに話題を広げていきました。仕事と家庭の両立のコツや長く働き続けられた理由など先輩メンバーの経験談、学生自身の「働く」ことや「家庭との両立」に対する思いなどを共有、真剣ななかにも笑いのあふれる和やかなディスカッションとなり、学生にとってはもちろん、VAL21メンバーにとっても非常に有意義な時間となりました。

閉会の挨拶では、VAL21代表幹事で川崎重工業(株)人事本部労政部副部長の今村弥雪氏は、「どんな人生を歩んでもその人が幸せであればいい。ただ、人生を豊かにするために多くのことに興味をもつ、その一つが仕事をするということ。女性は“仕事”と“子育て”の二者択一と考えがちだが、どちらも選んで楽しみながら高みを目指す、欲張りな人生を歩んでほしい。」と全員にエールを送りました。

最後に、二部のディスカッション内容を班ごとにまとめたペーパーを貼りだし、参加者全員で共有しました。閉会したにも関わらず、大勢の参加者が話をしながら「企業研究はすべき」「ゴールはイメージすべき」といったキーワードがちりばめられたペーパーに見入り、立ち去りがたい雰囲気の流れていました。